



株式会社 旭コーポレーション

SDGs宣言

2024年1月23日

株式会社 旭コーポレーション

代表取締役 松本 剛

バージョン :01

建設職人が笑顔で安全に暮らせ定年まで働ける
企業を構築し、建設業界の繁栄と豊かな社会の実
現を目指す



私たちのSDGs宣言

積極的にSDGs活動を実施し、足場業界のリーディングカンパニーを目指します。

企業スローガン :「SMILE & SAFETY」

企業理念 : 社員には、笑顔を忘れず、より一層の安全を求めて技術向上に精進し、仕事の達成感を喜びと感じる人材を育成を行うことで社会に貢献する。

建設業界においては担い手不足が顕著となっており、今後もこの傾向は変わらないでしょう。そんな状況にも関わらず、足場施工における基準や顧客要求は年々厳しいものとなり1つの物件に対する人工数は上昇する傾向があり、担い手を増やさなくてはなりません。

当社としては、社員の待遇改善と人事考課を行うことと、休日確保や給与体系の向上だけでなく資格の取得支援や社内表彰、講習会の開催による社員に寄り添った企業であるとともに、近隣清掃や挨拶運動などにより、地域密着型企业を目指す。

当社のSDGsへの貢献

技術・職業的スキルを備えた社員を育成。

○ 2030年 入社3年目以内の社員の離職率低減 2020年度対比15%以上低減
残業時間 平均15時間/月・人 削減

作業効率の高い足場の提供と、検査・技術向上による安全・安心作業を実施

入社5年目以上の社員の割合を増やし、技術面や各種資格取得支援により若手社員への教育指導実施、得意先様から信頼感を増やしていく。

作業効率の高い足場の提供による顧客作業の生産性向上、得意先様からの信頼や現場周辺の近隣への騒音等への配慮。

安全管理部による各現場への安全パトロールを実施し、得意先様へ随時報告。迅速な是正行い質の高い得意先様が使用しやすい足場の提供を目指す。



私たちの重要課題を洗い出し、 マテリアリティを特定しました。

当社では、SDGs宣言の策定にあたり、マテリアリティの特定を行いました。

SDGsやパリ協定、および自社が取り組んでいる社会課題を抽出し、
自社における重要度とステークホルダーへの影響度の2軸でマッピングを行い、分析しました。

マトリックスの右上が私たちのマテリアリティとなり、
外部有識者との対話と検証によって、最終的に決定しました。

● …ガバナンス ● …社会 ● …環境



マテリアリティ項目



ガバナンス / Governance

- 1 フルハーネス安全帯の使用徹底と手摺先行工法の実施による災害防止
- 2 若手社員と技能実習生への技術指導
- 3 健康診断の受診と受診後のフォローアップ
- 4 資材の前日準備による現場入り時間を早めることによる残業削減
- 5 年齢に応じて部署移動を推進し定年まで働ける



社会 / Social

- 1 物価上昇等に伴う施工単価適正化（賃金維持向上）
- 2 新入社員の定着
- 3 残業時間平均月15時間削減
- 4 地元サッカークラブ(前橋FC)とのスポンサー契約



環境 / Environment

- 1 ハイブリッド車両の導入
- 2 廃棄物分別リサイクル
- 3 作業現場の整理整頓（工事車両も含む）
- 4 機材センター近隣清掃実施

事業のすべてのステージで SDGsへの取り組みを推進していきます。

当社では、事業活動のすべてのステージで、SDGsを視野に入れた活動に取り組んでいます。
SDGsポリシーの下に、新たに力を入れていく取り組みに加え、
従来から私たちが推進してきた活動をバリューチェーンのそれぞれのステージに示しました。

正
の
影
響

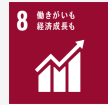
- ・若手社員の離職率低減
- ・資格取得促進によるスキルアップ
- ・健康診断の受診と受信後のフォローアップ



- ・物価上昇等に伴う施工単価適正化（賃金維持向上）
- ・受発注システム導入による業務の生産性向上



- ・鉄骨架台による積み込み効率向上
- ・資材の前日準備による現場入り時間を早めることによる残業削減



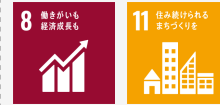
- ・技能実習生への技術指導
- ・協力会社との連携
- ・挨拶の徹底による顧客満足度向上



- ・廃棄物分別リサイクル
- ・仮設工業会認定工場としての維持管理



- ・安全な足場提供による災害防止
- ・作業効率の高い足場の提供による顧客作業の生産性向上



- ・近隣清掃
- ・詰所に製水機設置
- ・コーヒーコーナー設置（ロスフード対策）
- ・安全大会での表彰による社員のモチベーション



教育

営業 下見 見積 受注

資材積込 現場移動

施工 解体

資材 整理 管理 廃棄

施工済み足場安全点検

その他

負
の
影
響

- ・安全教育による災害防止
- ・安全衛生会議でのKYT



- ・ハイブリッド車両の導入



- ・新型車両への定期的入れ替え
- ・遠方現場における泊まり込み作業（残業削減）
- ・トラック荷台の荷崩れ防止による安全輸送



- ・残業時間削減
- ・空調服支給による熱中症予防
- ・フルハーネス安全帯の使用徹底による災害防止



- ・損傷資材のリサイクル



- ・点検による不安全箇所抽出と手直しによる災害防止
- ・不安全箇所指摘等によるスキルアップ



当社が価値創造モデルを描きました。



※CSVとは、Creating Shared Valueの略。企業が社会的な課題に取り組むことで、企業の生産性や経済的価値が高まること。